

# 蔵書点検について

## 手 順

1. 「蔵書点検」のソフトを使って、現在図書室にある図書のバーコードを読み取ります。
2. この作業が終わったら、「図書館」ソフト ⇒ 図書登録 ⇒ 蔵書点検で、「蔵書点検」のデータを読み込みます。
3. 各種の集計をしてください。

## 蔵書点検ソフトのセットアップと実行

1. 当社 HP より「蔵書点検」のソフトをダウンロードしてパソコンにセットアップしてください。ノートパソコンなどで使用する場合は、USB メモリーで運用することもできます。
2. 「蔵書点検」のフォルダを開き、次のアイコンをクリックしてソフトを実行してください。



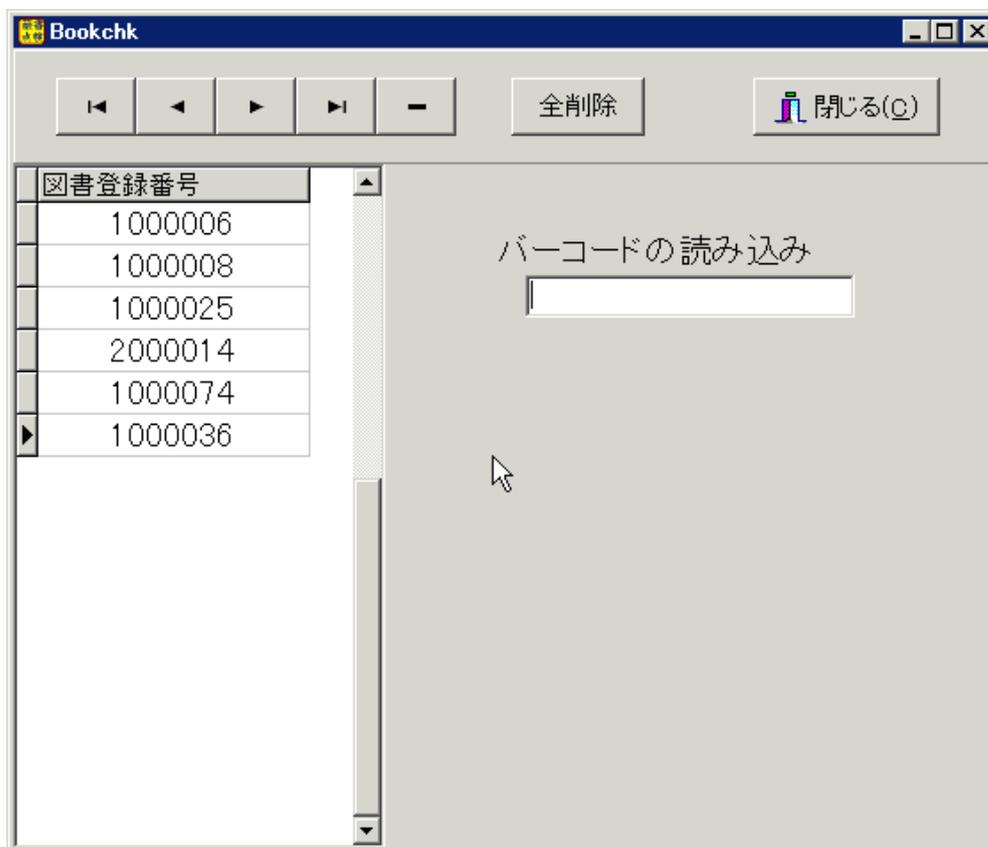
3. 次のような画面になりますので、実行ボタンを押してください。



4. 次のような画面になります。

蔵書点検を始める前に、もし、図書登録番号欄に、図書番号が残っていたら、「全削除」を実行してください。

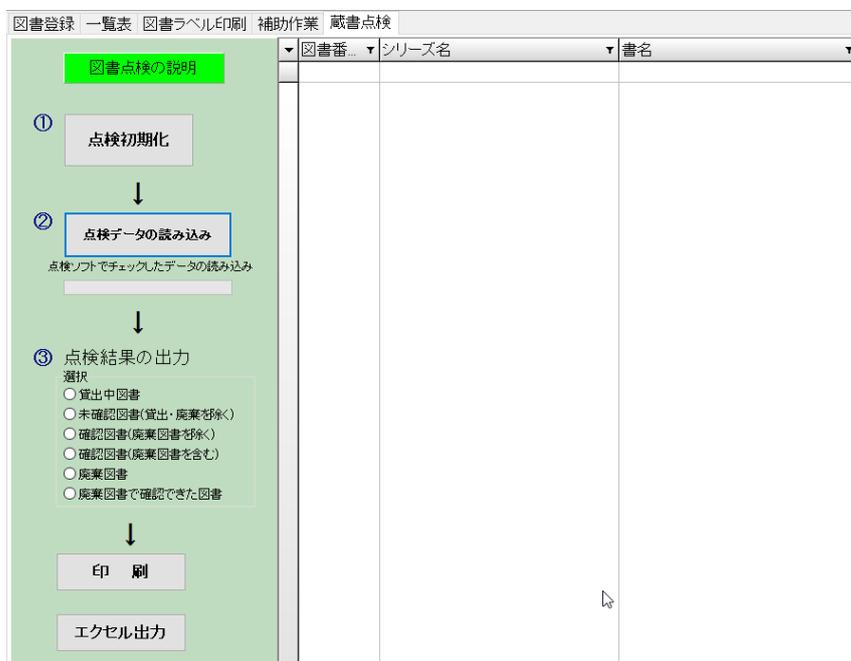
バーコードの読み込み欄にカーソルポインタがあることを、確認して図書の「登録番号のバーコード」を読み取っていくと、この画面のように、読み込んだ図書の登録番号が表示されます。



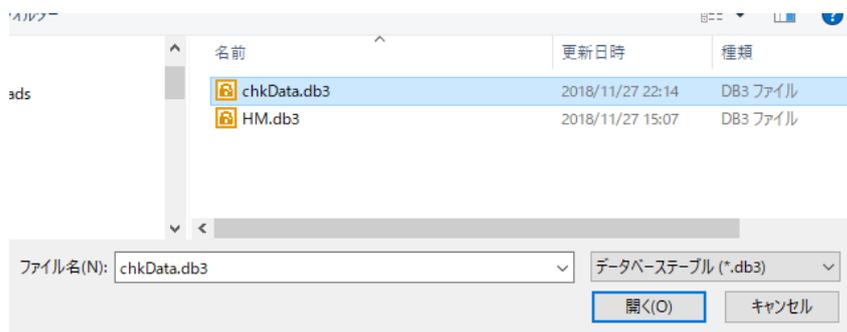
5. 書籍が多い場合は、複数のパソコンに「図書点検」のソフトを入れて、分担しながら作業を行うことができます。
6. 途中で作業を中断する場合は、そのままこの画面を閉じて、このソフトを終了してください。作業はいつでも中断や再開が出来ます。
7. 多量のデータを読み込みますので、運用途中で時々、バックアップを取ってください。バックアップは、「蔵書点検」のフォルダをUSBメモリーなどに、そのままコピーしてください。
8. 「全削除」を実行すると、読み込んだデータがすべて消えますので、作業途中では、絶対に実行しないでください。

## らくらく図書館ソフトでの作業

1. 「図書館」ソフトを起動して、  
データ入力 ⇒ 図書登録・変更 ⇒ 蔵書点検 に進んでください。
2. 次のような画面になります。



3. 最初に、「①点検初期化」のボタンを押してください。これにより、点検作業が実行出来るようになります。
4. 次に「②点検データの読み込み」ボタンを押してください。  
次のような画面が出ますので、「蔵書点検」のフォルダの中にある「ChkData.db3」のファイルを選んで、「開く」ボタンを押してください。  
複数のパソコンで、「蔵書点検」ソフトを実行している場合は、USBメモリー等に、コピーしてから、順次読み込んでください。



5. 「②点検データの読み込み」が終わったら、「③点検結果の出力」を実行してください。  
「未確認図書」が、現在確認が出来ない図書ということになります。  
点検の結果は、印刷またはエクセル出力が出来ます。

### ③ 点検結果の出力

選択

- 貸出中図書
- 未確認図書(貸出・廃棄を除く)
- 確認図書(廃棄図書を除く)
- 確認図書(廃棄図書を含む)
- 廃棄図書
- 廃棄図書で確認できた図書

6. 点検データの読み直しをしたい場合は、①から実行してください。